

介護サービスの基盤整備について

参考資料1:在宅生活改善調査結果より

■生活の改善に必要なサービス

生活の改善に必要なサービス	在宅サービス待機者(31人)		
住まい・施設等	住宅型有料	4人	12.9%
	サ高住	4人	12.9%
	軽費老人ホーム	0人	0.0%
	グループホーム	9人	29.0%
	特定施設	0人	0.0%
	介護老人保健施設	0人	0.0%
	療養型・介護医療院	1人	3.2%
	特別養護老人ホーム	4人	12.9%
在宅サービス	ショートステイ	10人	32.3%
	訪問介護、訪問入浴	5人	16.1%
	夜間対応型訪問介護	2人	6.5%
	訪問看護	2人	6.5%
	訪問リハ	1人	3.2%
	通所介護、通所リハ、 認知症対応型通所	1人	3.2%
	定期巡回サービス	11人	35.5%
	小規模多機能	18人	58.1%
	看護小規模多機能	7人	22.6%

在宅生活改善調査

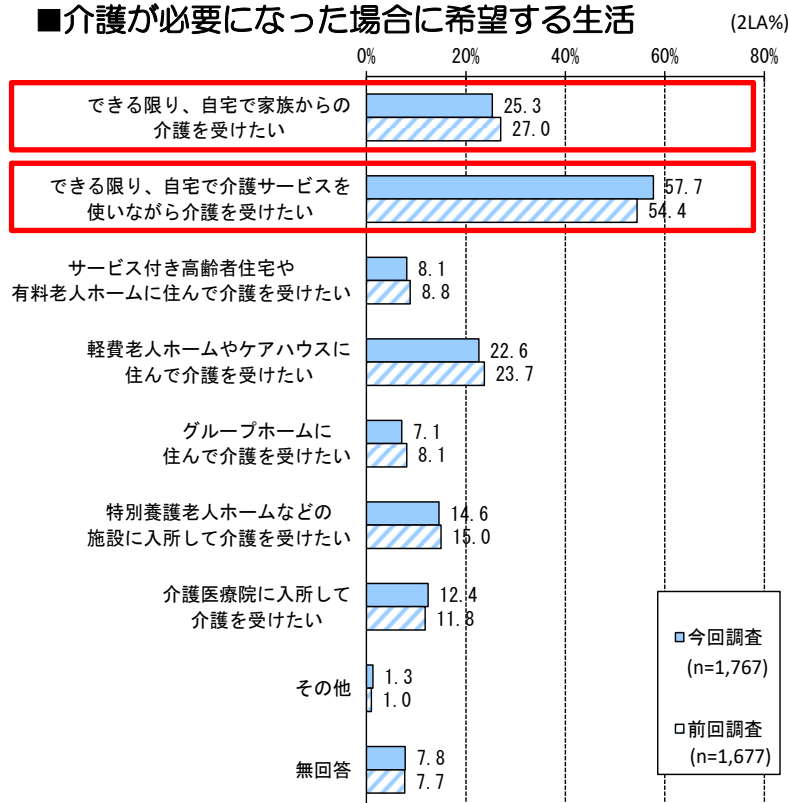
目的：地域に不足する介護サービスを検討するため
 対象者：居宅介護支援事業所、小多機・看多機事業所
 （市内全事業所）のケアマネージャーによる回答
 期間：令和5年1月10日～令和5年1月24日
 件数：18事業所中17事業所のケアマネージャー
 55名が回答

生活の改善に必要な
 在宅サービスとし
 て、小規模多機能を
 挙げた方が最も多
 くなっています。

※在宅サービス待機者…在宅での生活が難しくなっている方のうち、生活の改善に必要なサービスとして「在宅サービス」を含む回答をされた方。

参考資料2:介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果より

■介護が必要になった場合に希望する生活



介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

目的：日常生活圏域ごとに、地域の抱える課題を特定するため実施
 対象者：要介護認定を受けていない高齢者
 期間：令和4年11月24日
 ～12月26日
 件数：2,300件